

2017年12月期第2四半期 決算説明資料

株式会社RS Technologies

2017年8月10日

注意事項

- 当該資料に記載された内容は、一般的に認識されている経済情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営を取りまく様々な環境の変化により、予告なしに変更される可能性があります。
- 本発表において提供される資料ならびに情報の中には「見通し情報」が含まれております。これらの情報は、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実際には異なる結果となる不確実性を含んでおります。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。
- 資料中で「生産能力」についての記載は、全て当社グループの“300mm再生ウェーハ”の能力を指しております。

目次

2017年12月期第2四半期決算情報	P. 4 - 6
中・長期的な経営方針	P. 7-11

2017年12月期第2四半期 決算情報

2017年12月期第2四半期決算情報 ☆ サマリー ☆

半導体市場の好調に伴い、ウェーハ需要が増加したこともあり、再生ウェーハ市場も旺盛に推移しており、当社第2四半期決算も好調に推移。

単位：百万円

	2017年12 月期 第2四半期	2016年12 月期 第2四半期	前期比	2017年12月期 修正事業計画 (2017年1~12月) 2017/8/3発表	進捗率
売上高	4,971	3,877	128.2%	9,450	52.6%
営業利益	1,404	506	277.2%	2,550	55.1%
営業利益率	28.2%	13.1%	+15.1pt	27.0%	-
経常利益	1,598	156	1,023.7%	2,650	60.3%
経常利益率	32.1%	4.0%	+28.1pt	28.0%	-
四半期純利益	1,069	65	-	1,630	65.6%

2017年12月期第2四半期決算情報 ☆ 会社別 ☆

- RS Tec(日本)では、生産効率向上による生産量増で増収増益となった。
- 台湾子会社においては、稼働率の向上による生産量増で増収増益となった。

単位：百万円

	RS Tec (日本)	台湾子会社	連結消去	連結合計
売上高	3,771	1,215	△15	4,971
営業利益	887	459	57	1,404
営業利益率	23.5%	37.7%		28.2%
経常利益	1,080	451	66	1,598
経常利益率	28.6%	37.1%		32.1%
当期(四半期) 純利益	628	375	66	1,069

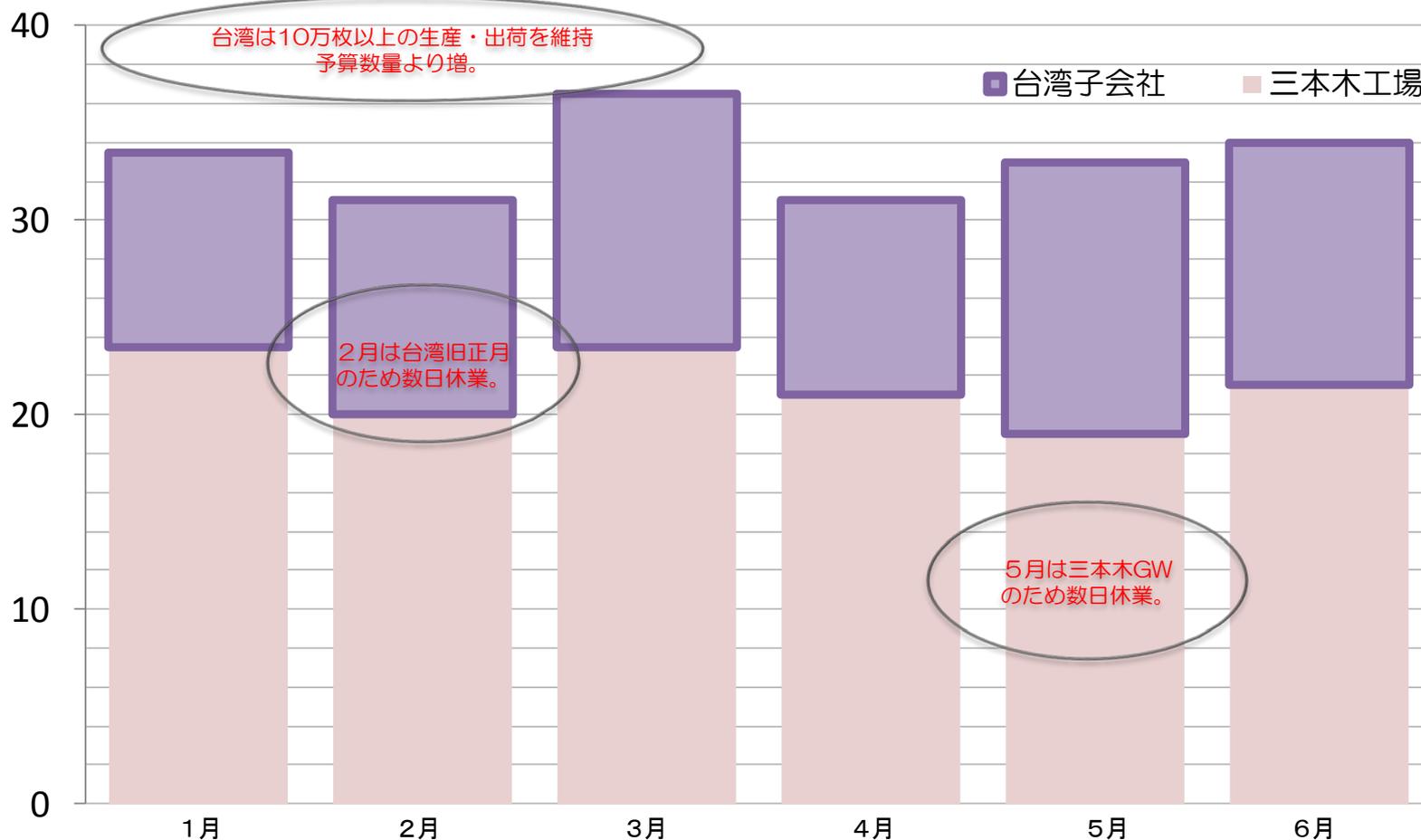
中・長期的な経営方針

中・長期的な経営方針

- ①台湾子会社新設・三本木工場増設による生産力拡大
(⇒完了)
- ②再生市場での当社のシェア拡大
- ③伸長する需要の取込み
- ④潜在的な再生市場の開拓
- ⑤中国半導体マーケットへの参入

「三本木工場と台湾子会社の出荷推移」

万枚 ～三本木工場と台湾子会社の300mmウェーハ出荷枚数推移～



「再生市場での当社のシェア拡大」

	2015年上期	2015年下期	2016年	2017年	2018年目標
当社グループ 生産能力	18 万枚	24 万枚	28 万枚	30 万枚	≥40% 目標
当社グループ シェア	19%	24%	29%	30%	

上図の生産能力及びシェアは、すべて「当社」調べとなります。

既存設備によるさらなる生産力のアップ、三本木の空工場利用、
業務提携・M&A等の手法を用いて

2018年までに40%のシェアを目標としています。

「中国半導体マーケットへの参入」

中国は2020年までに半導体産業に5兆円の投資を計画。

内製化のために、国内企業の育成と海外メーカーのM&Aを促進。

当社は、設立以来構築してきた中国半導体企業との関係をさらに強化し、中国市場に参入する。



日本の優れた半導体関連リソース

半導体製造

半導体部材(ウェーハ、石英、
その他消耗材等)

半導体製造装置

技術者

RS Technologies

(ウェーハ事業、半導体製造装置・消耗材販売事業、
技術コンサルティング事業、投資事業)

当社が日本の優れたリソースと中国
の半導体市場をつなぐ
インターフェース となる。